

[福島市民活動の今②]



「未来会議」で 福島(と自分の たちの)の未来を話そう！ in 栃木市

1/28

日曜 11:30-14:30

●とちぎ市民活動推進センターくらら

(栃木市境町19-3)

●好評につき、大田原でやった未来会議を、またやります。

いわき・浜通り各地で開かれているこの“集まり”は、年代・職業も様々な人たちが100人も集まり、多様な異なる意見を述べ合い“未来”を語り合っています。

「未来会議のこれまで等」について霜村さんにお話をいただき、栃木でも福島・故郷・自分たちの未来について対話します。



●ファシリテーター：霜村真康さん+他1人位

(未来会議副事務局長 / いわき市・菩提院 袋中寺副住職。栃木市出身)

●対象：①福島県から避難してきている方

②県内に移住・定住・定着した方

③支援者 ④一般の方(栃木の人・興味関心のある方)

●内容●：講話+ワークショップ(みんなで未来を話す)

※昼食代100円(おにぎりを食べながら、対話も続けてやります)

※10:30-11:30は、コンサートもやっています。続きでぜひどうぞ。

とちぎ暮らし応援会

●事務局(認定NPOとちぎボランティアネットワーク)

●福島県・県外避難者生活再建支援拠点・栃木

〒320-0027 栃木県宇都宮市塙田2-5-1 共生ビル3階

TEL: 028-622-0021 / FAX: 028-623-6036

■tochigivnet.com ■メール tvnet1995@ybb.ne.jp



未来会議とは

震災と原発事故は被災状況や仕事、環境、価値観の相違などによる分断や軋轢を引き起こしました。福島には長期的に続く、誰も経験したことがない物事が横たわっています。

2012 年秋、

「継続的な対話の場が、

この地域には必要なのではないか？

異なる価値観や違いはむしろ財産ではないか？

対立ではなく一緒になって考えることが

大切なのではないか？

失敗してもいい！という雰囲気の中で互いを伸ばし合うことが、未来への種を育むことになるのではないだろうか？

多様な声に耳を傾け、

自分に出来ることを考える時間を持ちたい」

と、私たちは話し合いました。

2013 年 1 月、くつろぎながら誰もが参加できるワークショップ形式の対話の場「未来会議」がスタート。いわき市民に限らず、双葉郡、各地からいわきに来ている人、市外や県外の方、支援者、高校生など、地域も年代も越えて様々な職業や立場の方々が集まる場となっています。また、ここから新しいプロジェクトなども生まれてきています。

人と人が出会い、感じていることを共有し、違いや問題からも気づきや学びを得る。一人ひとりが一步を踏み出すきっかけや、疲れたら戻れる苗床のような場を目指し、継続開催をしていきます。ともに物事をみつめ、これから考える時間を持ちませんか。みなさまのご参加、お待ちしております。お気軽にいらしてください。

未来会議⇒ miraikaigi.org



1/28「未来会議」in 栃木に

□参加します (FAX: 028-623-6036)

●氏名： _____ ●電話： _____

●住所： _____

●メール(あれば)： _____

●避難元(福島の方のみ) _____



くらら地図(栃木市境町19-3)

●メッセージ(あれば)： _____